

研究機関名	兵庫県立大学				
プログラム名	身近な水溶性高分子のひみつ				
先生(代表者)	遊佐真一(ゆさしんいち)・工学研究科・准教授				
自己紹介	何かを作ることに集中している時間は、私にとってとても楽しい時間です。集中し過ぎて、すっかり時間を忘れ、うっかりトイレに行くことを忘れ、空気を吸うことを忘れてしまうことがあります。そんなときは、慌てて深呼吸をしながら「危なかった」と感じます。				
開催日・募集対象	2022年 8月 27日(土)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	姫路工学キャンパス 5号館 5204室		(集合時間)	9:40～10:00	
開催会場	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 5号館 住所: 〒671-2280 兵庫県姫路市書写 2167 アクセスマップ URL: <a href="https://www.eng.u-hyogo.ac.jp/access/facility.html">https://www.eng.u-hyogo.ac.jp/access/facility.html</a>				
内 容					
<p>吸水性高分子って聞いたことありますか？オムツなどに入っている水を吸収する高分子(ポリマー)のことですね。では、水溶性高分子とは何でしょうか？高分子と言っても、いろいろな個性を持ったものがあります。発泡スチロールのように水に溶けないもの、吸水性高分子のように水を吸うもの、そして水に溶けてしまう水溶性高分子など。では、水溶性高分子はどんなところに使われているのでしょうか？実はシャンプー、化粧品、インクなど、いろいろな身近なところで使われています。このプログラムでは、そんな水溶性高分子の面白い性質について実験しながら調べてもらいます。また、講義では水溶性高分子の医療への応用についても説明します。</p>					
持 ち 物			特 記 事 項		
筆記用具			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当日は実験を行いますので、動きやすい服装で来て下さい。</li> <li>○ 白衣や保護メガネなどは用意します。</li> <li>○ 実験は受講者2名につき1名の大学院生がアシスタントとして手伝ってくれる予定です。</li> <li>○ ご参加の際は、マスクの着用をお願いいたします。</li> <li>○ 発熱、咳、くしゃみなど風邪の症状がある方、体調のすぐれない方は、ご参加をお控えください。</li> <li>○ ご参加の際は検温、手指の消毒にご協力をお願いいたします。</li> </ul>		



## スケジュール

9:40~10:00	受付(集合場所:姫路工学キャンパス5号館2階5204室)
10:00~10:20	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費説明、5204室)
10:20~11:00	講義 界面活性剤について(講師:遊佐真一、5204室)
11:10~11:50	講義 高分子について(講師:遊佐真一、5204室)
11:50~12:00	質疑応答、5204室
12:00~13:00	昼食・休憩(研究室学生達と一緒に、大学生協で食事)
13:00~14:00	実験 界面活性剤に関する実験(3号館4階、3423室)
14:00~14:40	クッキータイム(3号館4階、3401室)
14:40~15:40	実験 高分子に関する実験(3423室)
15:40~16:00	ディスカッション(3401室)
16:00~16:30	修了式(アンケートの記入、未来博士号の授与、3401室)
16:30	終了

課題番号	22HT0124	分野	化学・工学	キーワード	水溶性高分子、界面活性、自己組織化
------	----------	----	-------	-------	-------------------

## 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	兵庫県立大学・遊佐真一
住所	兵庫県姫路市書写2167
TEL 番号	079-267-4954
FAX 番号	079-266-8868
E-mail	yusa@eng.u-hyogo.ac.jp
申込締切日	2022年7月30日(土)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

## 《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2021年度 ~ 2024年度	基盤研究(B) (一般)	21H02005	静電相互作用による上限臨界溶液温度を利用した接着機構の開発と応用
2017年度 ~ 2020年度	基盤研究(B) (一般)	17H03071	近赤外光による多重応答ナノキャリアの創出
2021年度 ~ 2022年度	学術変革領域研究(A)	21H05535	精密に構造制御された双性イオンポリマーと生体膜の相互作用



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000000301432>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。